

**17.3期第2四半期 決算説明会**

2016年11月  
レシップホールディングス株式会社

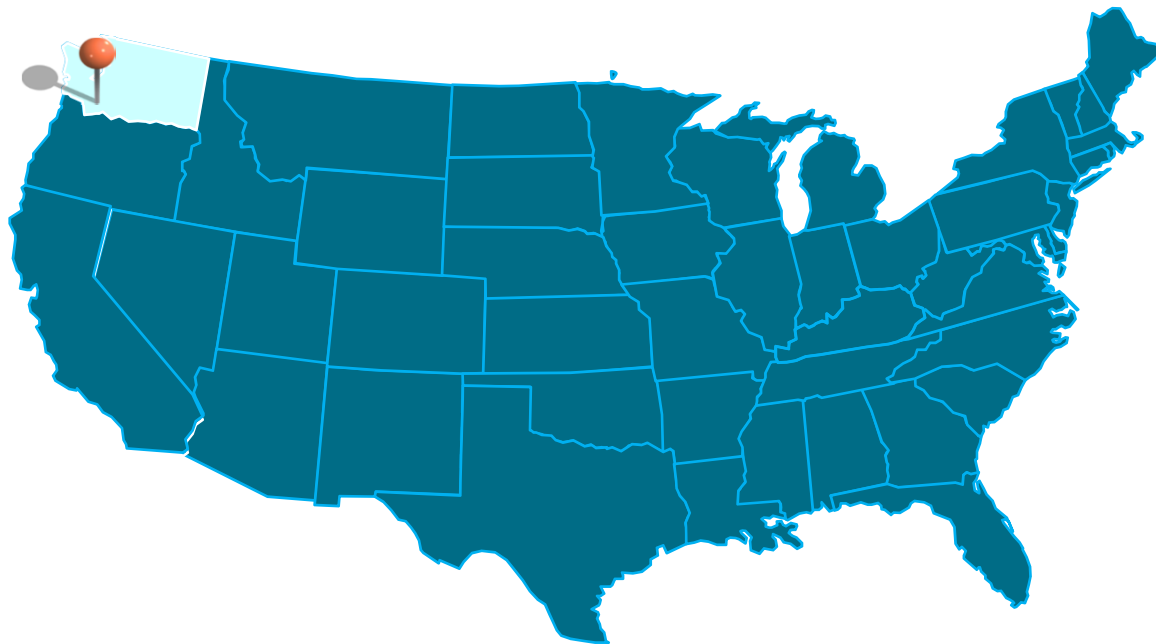
## 第2四半期のトピックス

### 米国市場に自動運賃收受システムを納入(日本企業として初)

日時 : 2016年7月

納入先: ワシントン州クラーク郡交通局(下記地図) バス100台以上を保有

特徴 : 日本で培われたコインの一括投入、コイン・紙幣の自動計数機能を搭載



# 17/3期 第2四半期実績

- 売上はほぼ前年並み、利益は赤字幅縮小
- ほぼ計画どおりの進捗
- 北米向けの開発費が一段落

【単位:百万円】	16/3期 第2Q累	17/3期 第2Q累	前期比	
			増減額	率
売上高	6,784	6,571	-212	-3.1%
売上原価 (原価率)	5,583 (82.3%)	5,277 (80.3%)	-305 (-2.0%)	-5.5%
売上総利益	1,201	1,294	+93	+7.7%
販売管理費	1,811	1,729	-81	-4.5%
営業利益	-610	-435	+174	-
経常利益	-613	-577	+36	-
税引き前利益	-615	-579	+35	-
当期純利益	-502	-427	+74	-
一株当たり利益	-45.68	-38.71	+6.97	-
為替レート(US\$)	121.73	105.39	-16.34	-13.4%

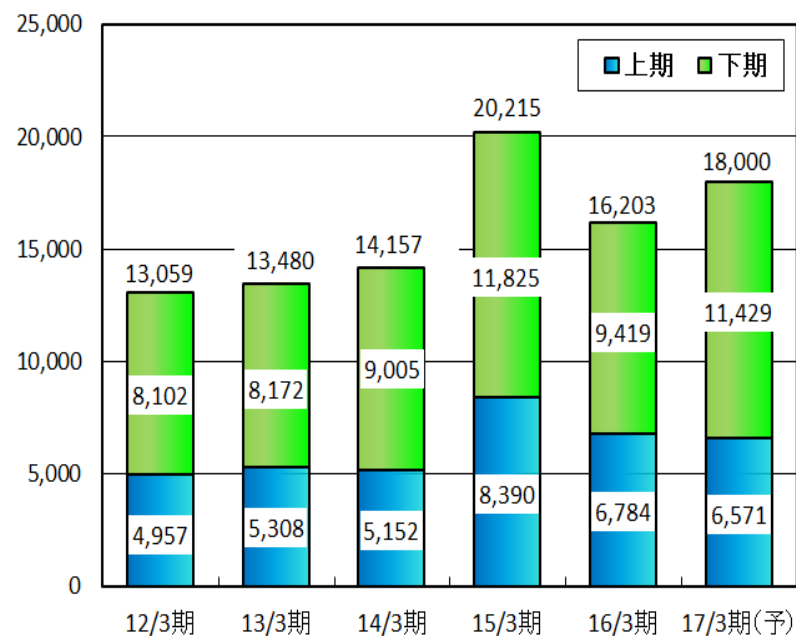
【単位:百万円】	16/3期 第2Q累	17/3期 第2Q累	前期比	
			増減額	率
輸送機器	4,398	4,277	-121	-2.8%
- バス	(3,300)	(3,229)	(-71)	(-2.2%)
- 鉄道	(675)	(604)	(-70)	(-10.4%)
- 自動車	(422)	(443)	(+20)	(+4.8%)
産業機器	2,363	2,272	-90	-3.8%
- 電源	(1,200)	(1,090)	(-109)	(-9.1%)
- エコ・高電圧	(420)	(340)	(-80)	(-19.1%)
- EMS	(742)	(841)	(+99)	(+13.3%)
その他	22	21	-0	-1.4%
合計	6,784	6,571	-212	-3.1%

# 業績推移、年間見込み

- 5月発表から変更なく、売上高180億円、営業利益3億円、最終利益50百万円の見通し
- 下期にかけて、国内で受注済み案件の納入開始
- 為替の影響は少なく、円高に対して若干プラスの影響(原価安) 想定 110円(期初)

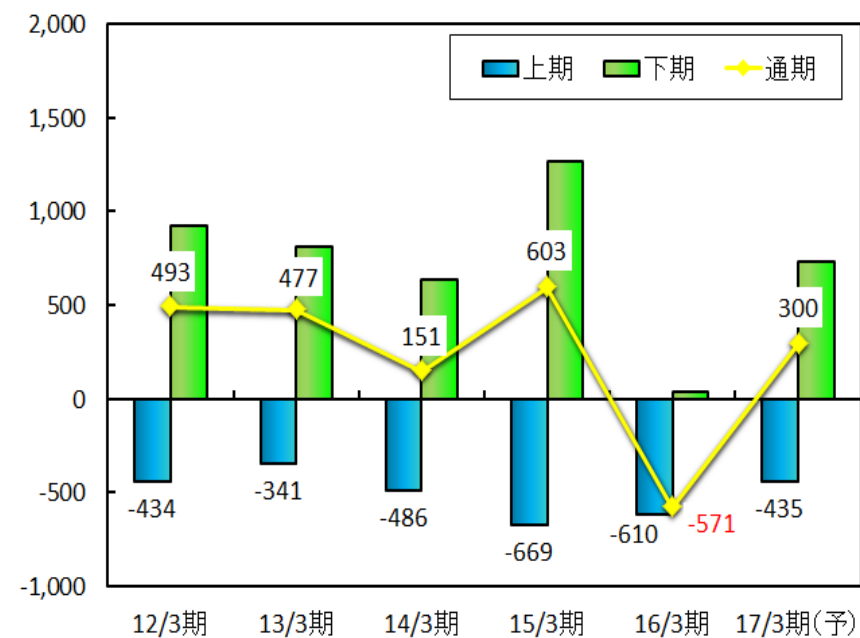
売上高の推移

(単位:百万円)



営業利益の推移

(単位:百万円)



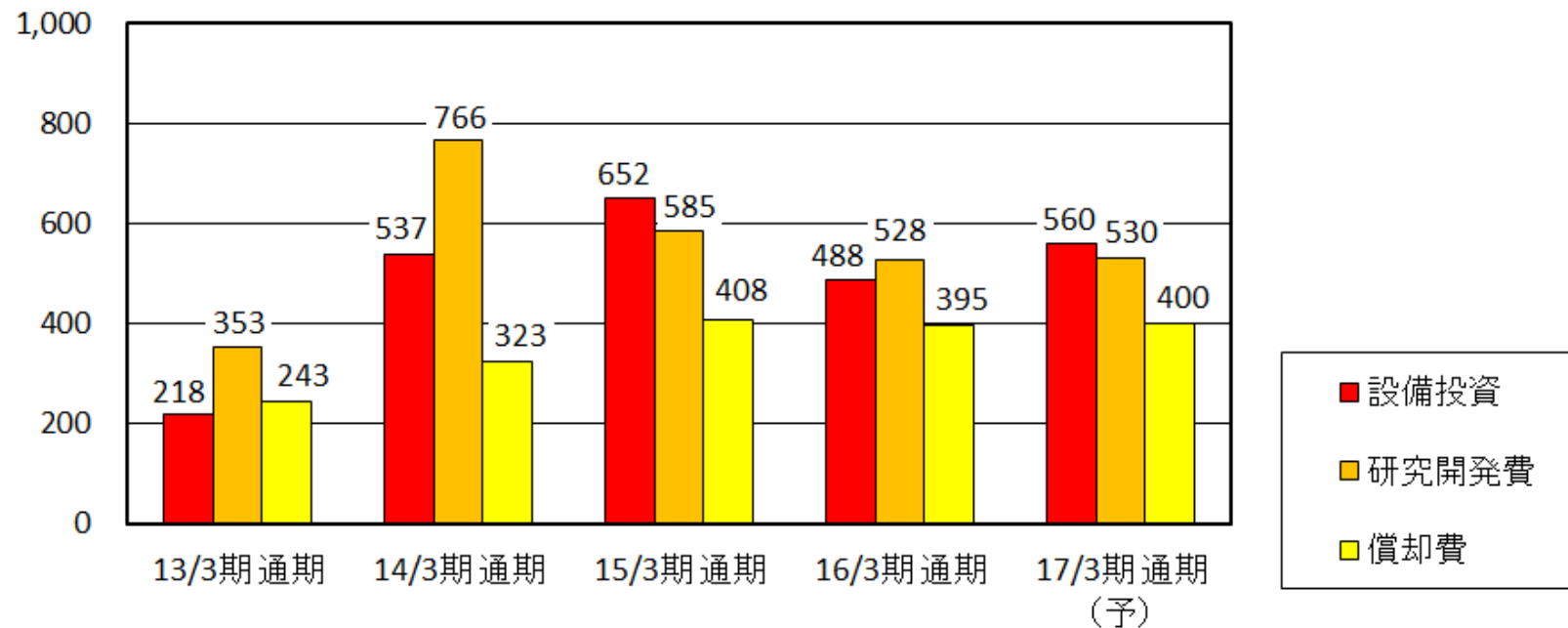
## 研究開発費、設備投資、償却費の推移

17/3期(予)

■研究開発費 国内向け運賃箱・TMSの機能改善、車載用表示器、北米向け灯具

■設備投資 運賃箱・表示器の金型、北米向け後方系ソフト、プロジェクト管理システム

(単位:百万円)



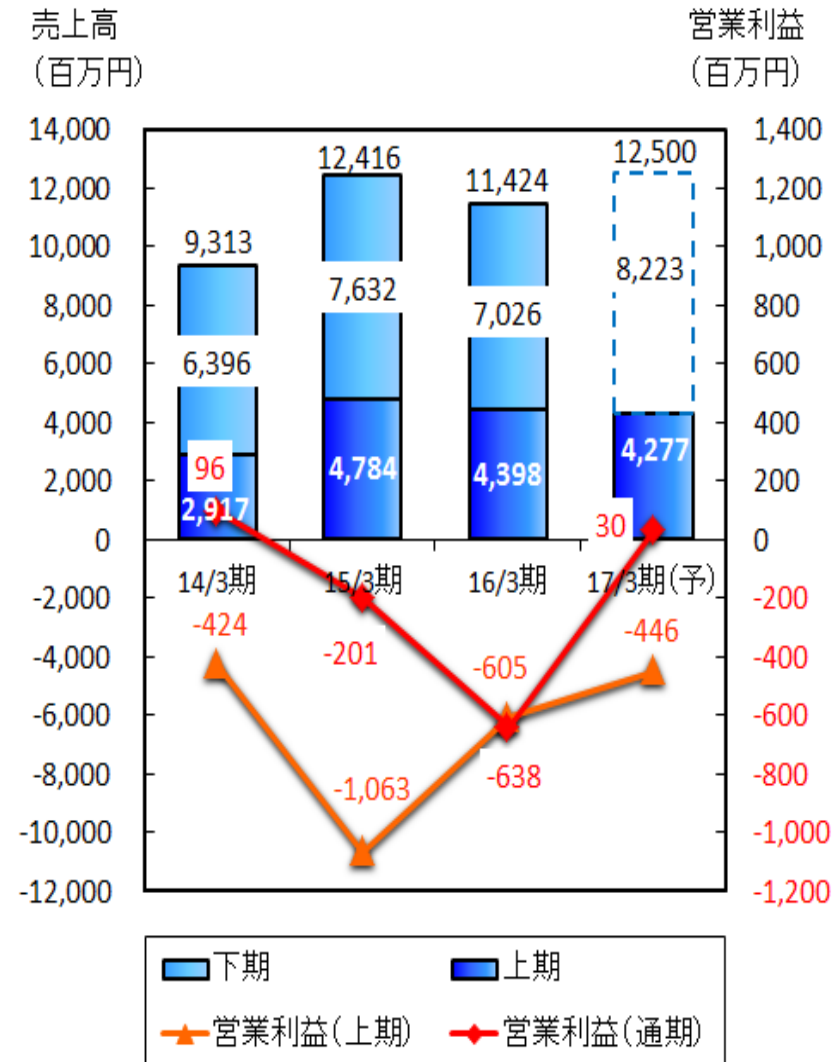
# 輸送機器事業

(第2四半期累計)

- 米国C-Tran案件計上
- しかし、シンガポール向けTMSの売上剥落により  
ほぼ前期並み
- 利益面は、北米向け開発費が一段落

(年間)

- 国内バスは、車載用液晶表示器OBC-VISIONや  
カラーLED行先表示器の納入控え、増収
- 鉄道は微減、自動車(トラック)は微増の見通し
- 利益面は、北米向け開発費が一段落で黒字回復



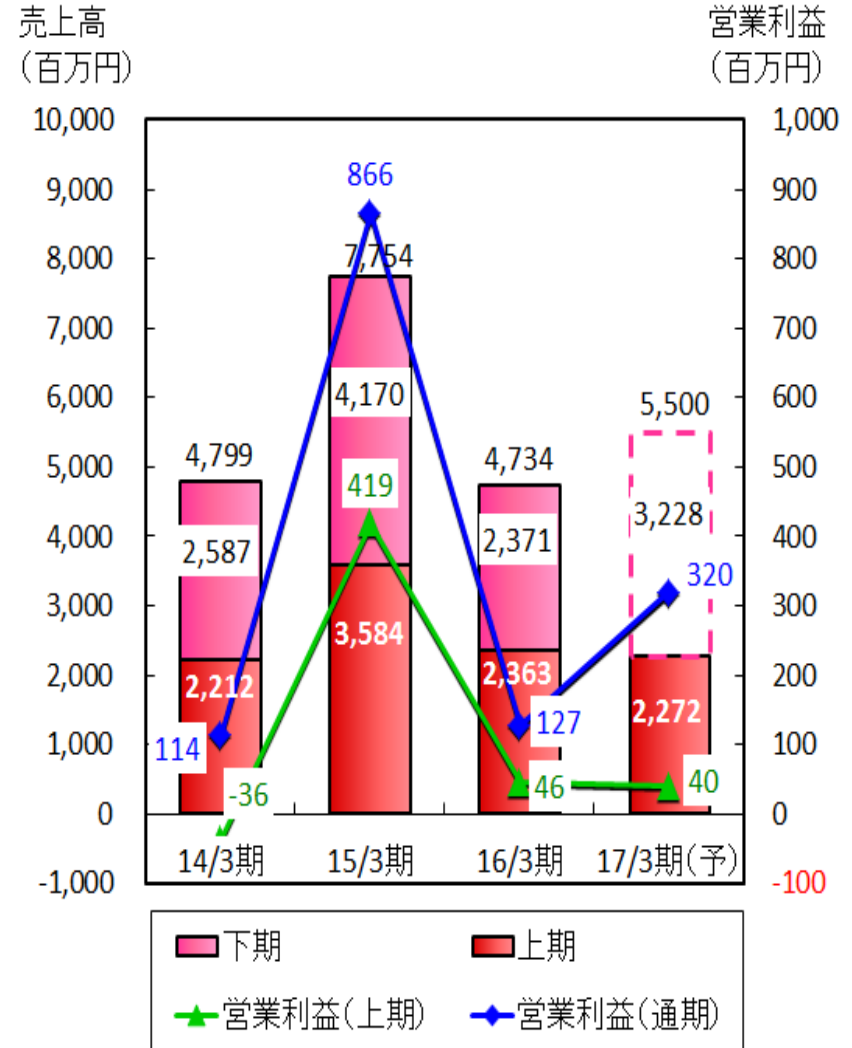
# 産業機器事業

(第2四半期累計)

- 通信基地局向け無停電電源装置が下期へ
- バッテリーフォークリフト用充電器は堅調
- EMS事業は新規開拓により増収
- 利益面は、減収の影響により減益

(年間)

- 通信基地局向け無停電電源装置が増加
- その他のビジネスは、上期と同じ傾向
- 利益面は、増収により増益見通し



## (参考)貸借対照表

(単位:百万円)		16/3末	16/9末	差異	
資産の部	現金及び預金	848	1,889	+1,040	
	受取手形及び売掛金	5,149	3,399	-1,750	← 前第4四半期売上分の回収
	棚卸資産	3,093	3,267	+174	
	その他	1,407	1,147	-259	
	流動資産 計	10,499	9,704	-795	
	有形固定資産	1,415	1,425	+9	
	無形固定資産	647	644	-2	
	投資その他の資産	611	644	+33	
	固定資産 計	2,674	2,715	+40	
	資産の部	13,173	12,419	-754	
負債の部	支払手形及び買掛金	2,173	1,091	-1,081	
	借入金	4,336	4,771	+434	← 下期の資金増に備えたキャッシュの積み上げ
	その他	2,926	2,502	-423	
	流動負債 計	9,435	8,364	-1,070	
	固定負債 計	460	1,150	+690	
負債の部	9,895	9,515	-380		
純資産の部	3,277	2,903	-374	← 四半期純損失の計上に伴う減少	
負債・純資産合計	13,173	12,419	-754		



## (参考) キャッシュフロー

(単位: 百万円)		15/9末	16/9末
税引等調整前当期純利益		△615	△579
売上債権の増減		2,557	1,731
たな卸資産の増減		△611	△299
仕入債務の増減		△565	△579
その他		△472	△187
営業活動によるキャッシュフロー		292	85
有形資産の取得・売却		△97	△67
無形資産の取得・売却		△164	△46
投資有価証券の取得・売却		△2	△62
子会社株式の取得		—	—
その他		△13	△12
投資活動によるキャッシュフロー		△278	△188
短・長期借入金の増減		△49	1,250
自己株式の取得・売却		9	21
配当金、その他		△125	△113
現金及び現金同等物に係る換算差額		△2	△14
現金及び現金同等物の増減額		△154	1,040
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		17	—
現金及び現金同等物の期首残高		612	793
〃 期末残高		475	1,834

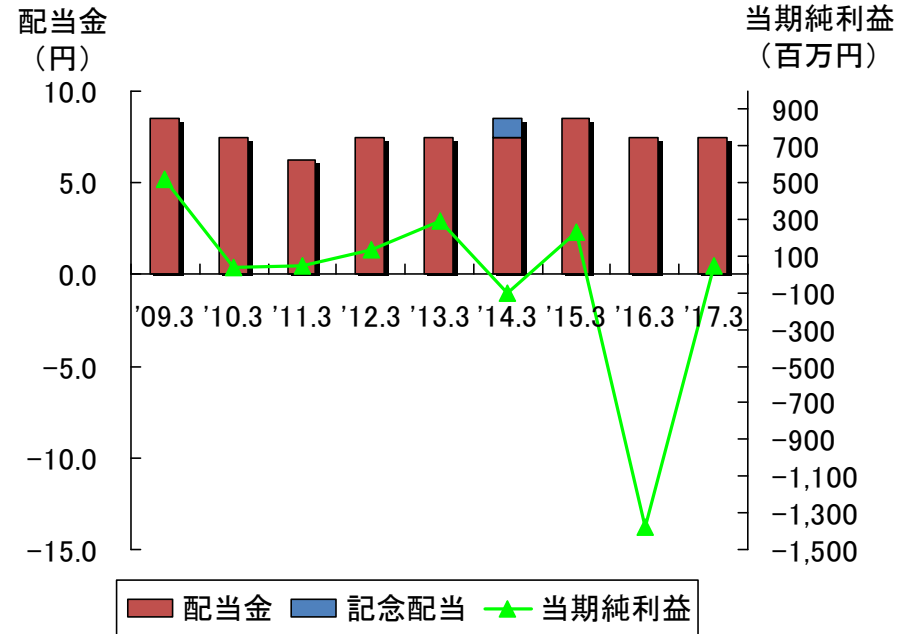
← 前第4四半期売上分の回収

← 下期の資金増に備えたキャッシュの積み上げ

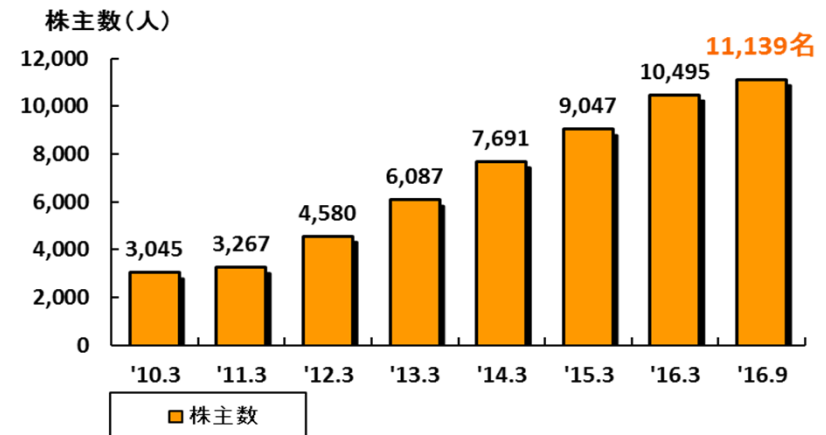
# 配当

## 配当の状況

- 15.3期 普通配当 8.5 円
- 16.3期 普通配当 7.5 円
- 17.3期 普通配当 7.5 円(予定)

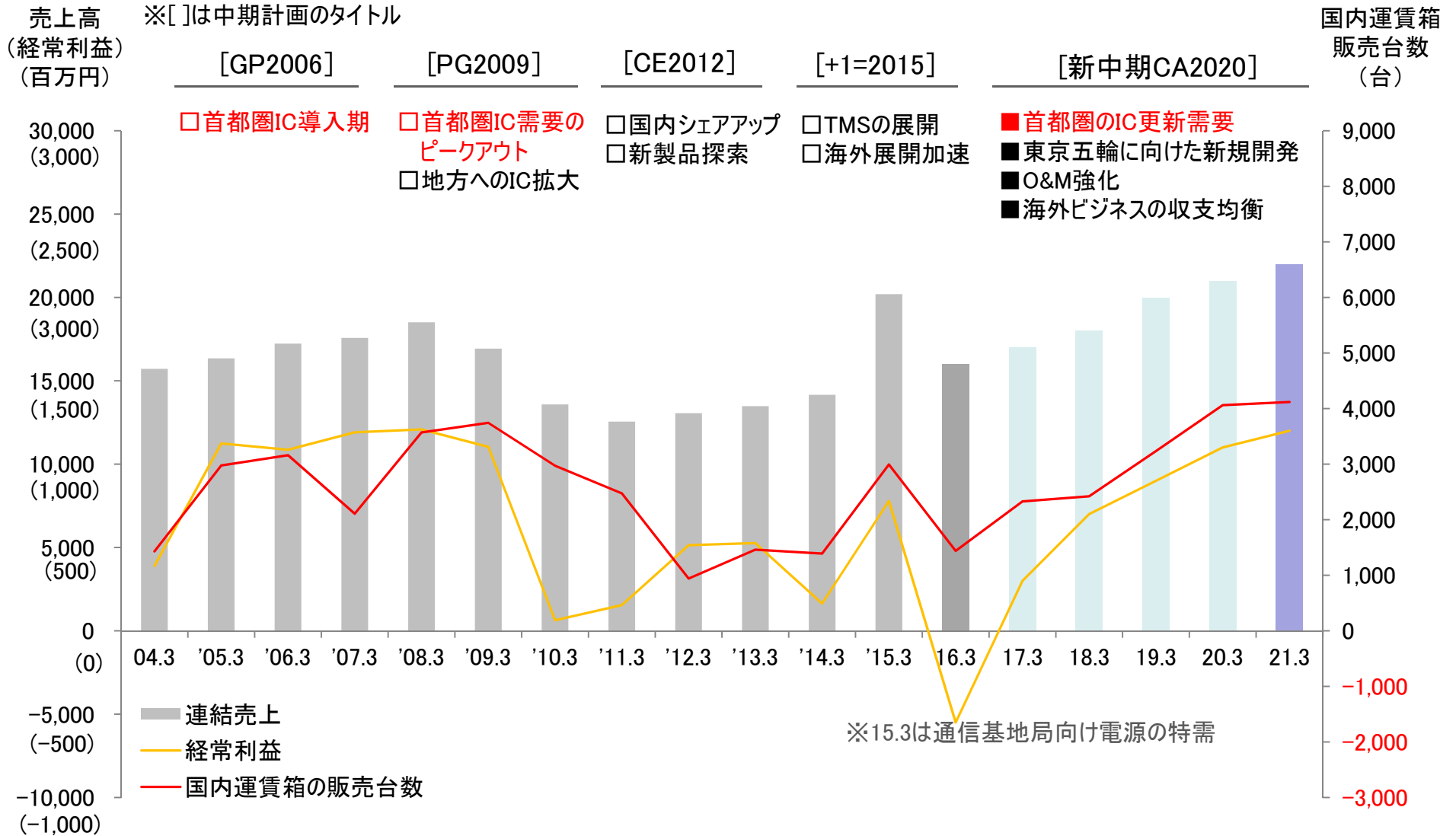


優待: 地元岐阜県産の富有柿(2000円相当)








現中期5カ年計画の進捗状況

# 業績推移と今後の見通し

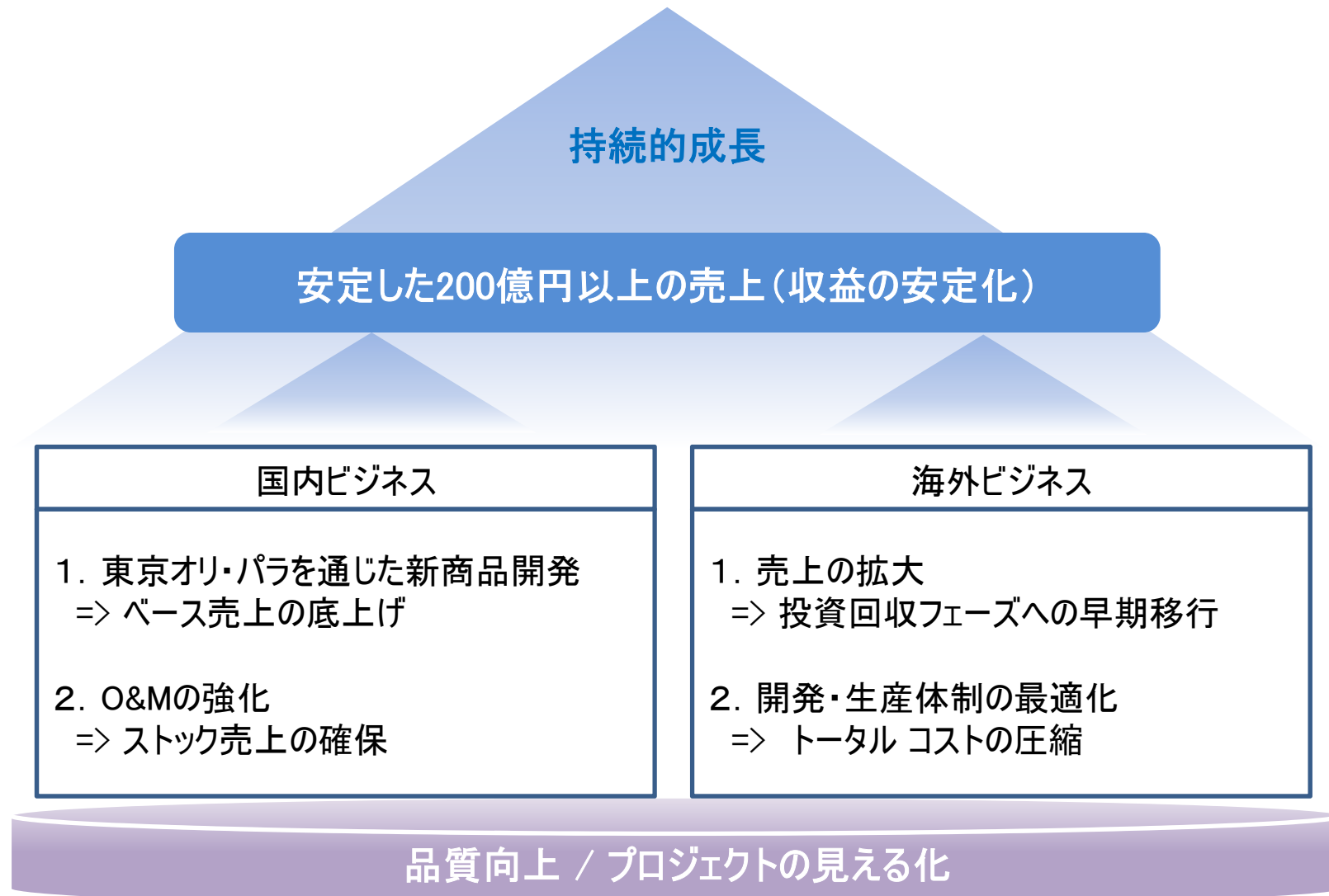


# 国内ビジネスの見通し

## 2020年度に向けて、各市場とも視界は良好

国内市場	見通し	要因
バス(輸送機器)		<p>①運賃箱及びICカードシステムについて、首都圏のICリプレースが2018年より本格スタート。併せて運賃箱の販売台数が現在の年2000台前後から4000台以上に。</p> <p>②車載用液晶表示器OBCが引き続き好調を維持。インバウンド対応のための4か国語表示やデジタルサイネージ需要増。</p> <p>③2015年に、カラーLED行先表示器を市場投入。今後、従来品のアンバー色からの置き換えが進む。</p>
鉄道-灯具(輸送機器)		国内の新車生産台数は、2016年以降は現在の約1500両から2000両前後に増加する見通し。国内向け海外向けともに増加。
自動車(輸送機器)		排ガス規制(ポストポスト新長期)が2017年にスタートするにあたり、一時的な反動減はあるが、中期スパンでは中・小型トラックは引き続き好調を維持する見通し。
無停電電源装置(産機)		<p>①通信基地局向け電源は補助金政策を背景に需要継続。</p> <p>②一方のケーブルテレビ向けは、光への置き換えにより需要減。</p>
フォークリフト用充電器(産機)		15年に市場再編はあったが、総需要は高位安定。バッテリー式FLの国内生産台数は、過去5年間で年平均4.0%の伸び。

## 現中期計画CA2020の基本方針



## 開発体制、保守体制の整備

---

### 売上高200億円に向けた、開発・メンテナンス体制の増強

- 東京技術開発部の拡充

- 2017年には25人体制を目指す

- 海外鉄道部の拡充

- 現在9人にまで戦力増強(その他、米国子会社に専属が3人)

- 保守、メンテナンス体制の整備

- O&Mセンターを中心に10人体制を目指す

- プロジェクト管理の強化

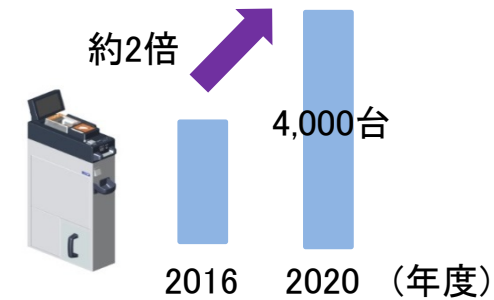
- 3年かけてプロジェクト管理システムに約3億円を投資(進行中)

# 国内ビジネスまとめ

## 首都圏ICカードのリプレイス

- 首都圏のバス用ICカードシステム(車載機)の約15,000台が2020年度までに順次更新予定
- それに併せ、主力の運賃箱本体の更新需要も見込む
- プロジェクトごとの進捗を管理するシステムを導入

運賃箱の販売台数(全国)



## 東京オリ・パラに向けた新製品開発



気仙沼BRT

- 首都圏のBRT(バス高速輸送システム)運行に向けた新たなビジネスチャンス
- 次世代車載機器、バス停案内表示器の開発

## 観光・インバウンド対応

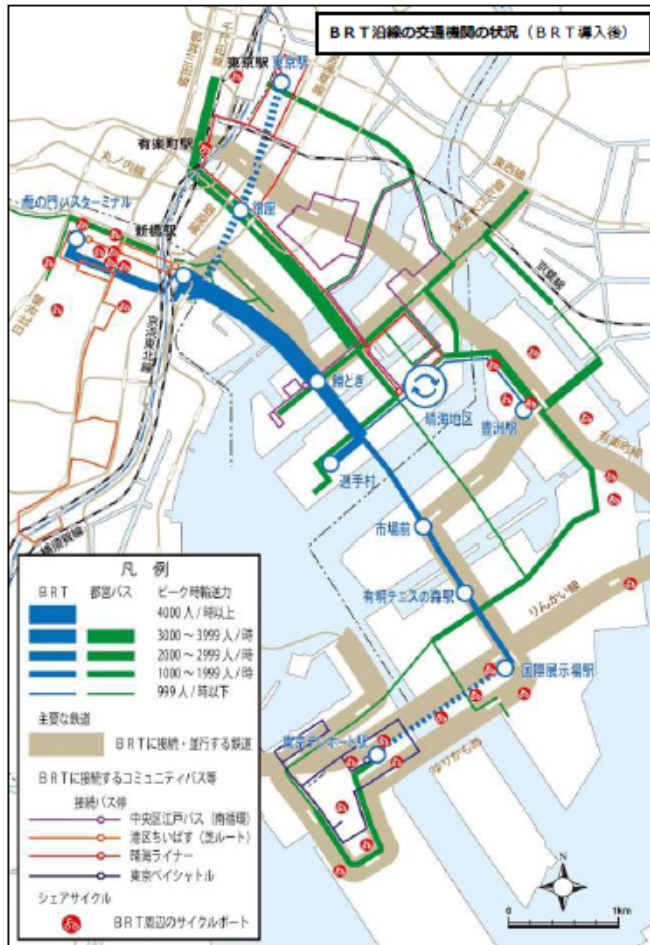


- 液晶表示器(OBC-VISION)の多言語化
- カラーLED式行先表示器の拡販
- 観光バス、高速バス向け新製品の企画



# 東京オリンピック・パラリンピックに向けた新商品開発

東京オリンピック・パラリンピックに向け、新しい製品・サービスを市場導入



## 東京オリパラに向けてBRTの導入が決定

虎の門バスターミナル/東京駅～新橋～晴海地区～国際展示場  
 予定 :2019年運行開始

### ○ BRTの増加

※BRT・・・バス専用レーンによる接続バスの運行

### ○ 国交省の補助金を活用した接続バス・バスロケ・PTPS(公共車両優先システム)が拡大



新たなビジネスチャンス

# 観光・インバウンド対応

首都圏や観光地を中心に、バスターミナル表示器や車載式液晶表示器の需要増

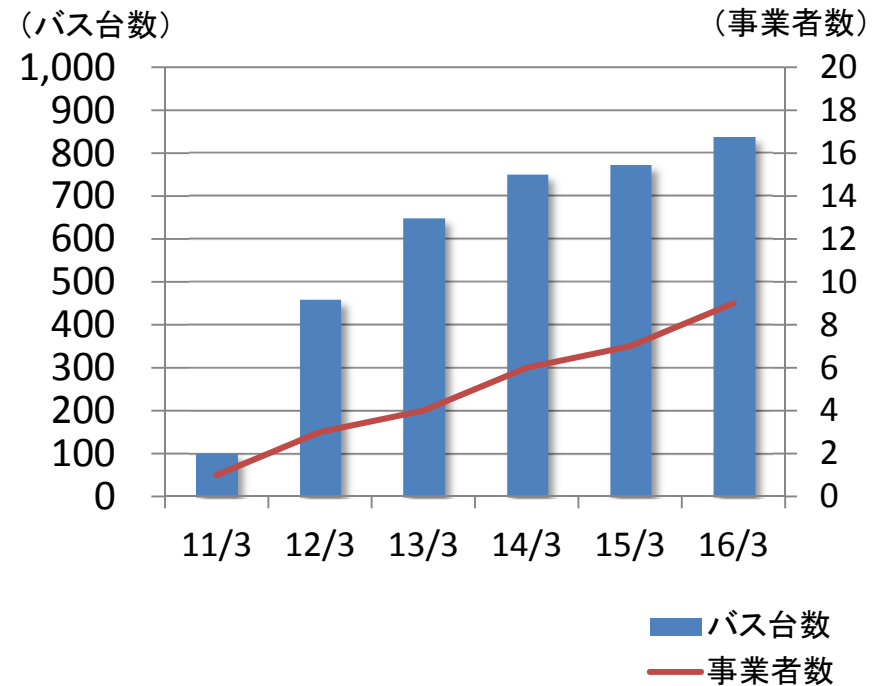


4ヶ国語表示  
導入事例



バスチャンネル導入事例

バスチャンネルの導入件数



- ・全国の路線バス56,000台のうち搭載率はまだ1.8%
- ・都市部、観光地を中心に、今後も拡大を見込む

# 自動運転化にらんだ車載機器の自動化／システム化

- ・バス車内の停留所表示／運賃表を自動更新するシステム＝自動歩進を開発
- ・運転の安全性、運賃誤収受の防止に寄与

次の停留所名/運賃を自動更新

市民体育館			
1	2	3	4
2030	1030	980	930
880	830	780	730
680	10	11	12



# 海外ビジネス



SWEDEN  
LECIP ARCONTIA AB

クレジットカード含む非接触カード決済端末の開発と拡販

バス用運賃收受システム、鉄道向け灯具の実績作りと拡販

USA  
LECIP INC

**中期目標：海外売上高40億円**

- ① ASEAN地区での灯具・充電器の拡販
- ② ASEAN地区からの調達量拡大

レシップエスエルビー株式会社  
レシップ電子株式会社  
レシップエンジニアリング株式会社  
岐阜DS管理株式会社  
レシップ産業株式会社

THAILAND  
LECIP THAI CO. LTD.

SINGAPORE  
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD



運行管理システム、料金箱の定期保守対応



# 北米ビジネス

## 導入実績をベースに、より積極的な案件の獲得を目指す

### ✕ AFC(自動運賃收受システム)

(市場環境)

- ・米国の路線バスの台数は約81,000台(日本は約56,000台)
- ・ICカードの未導入地域が多く、需要拡大が見込まれる
- ・日本の技術が評価される市場環境にある
- ・1社がほぼ市場を独占している → 参入の余地あり



- ・2008年より本格参入
- ・2012年に日本企業として初めてAFCシステムを一括受注
- ・2016年7月にワシントン州・クラーク郡交通局へ納入

入札評価ポイントの一つ、「実績点」を積み上げ、次の案件の獲得を目指す



### ✕ 鉄道向けLighting System

(市場環境)

- ・世界的な車両メーカーである、Bombardier, Siemens, Alstomに加え、日本の鉄道メーカーも参入しており、日本での取引実績を活かした活動が可能



- ・2014年に川崎重工様の米国子会社より、NY鉄道車両向け灯具を一括受注
- ・2016年より5カ年にわたり納入予定  
(納入アイテム:ヘッドライト、客室照明、ドア照明など60種類)

設計資産の蓄積と横展開を進める



# 海外向け非接触決済システム

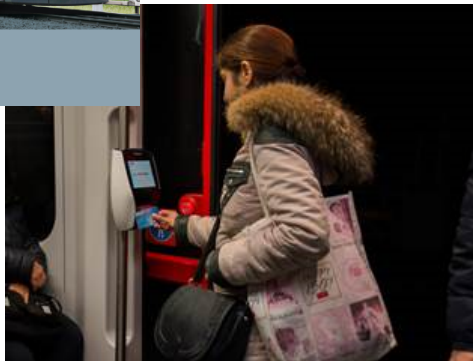
- ① 先進国における、非接触クレジットカード・デビットカード・NFC決済の台頭
- ② 新興国・途上国における、キャッシュレス決済の需要拡大

## ✕ 非接触クレジットカード(EMVCo)対応

## ✕ キャッシュレス決済の需要取り込み

・オランダ初(世界的には、英国に次ぐ2番目)のEMVパイロットプロジェクトに、ARCONTIA社のIC端末が採用される(2018年にサービスイン)

・東南アジア、中南米地域へのIC端末の拡販  
 ・18.3期に新商品を投入予定



# LECIP GROUP

## 【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

経営企画室

電話番号 : (058)323-7647

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

補足：会社概要説明



# 会社概要 (1/6)

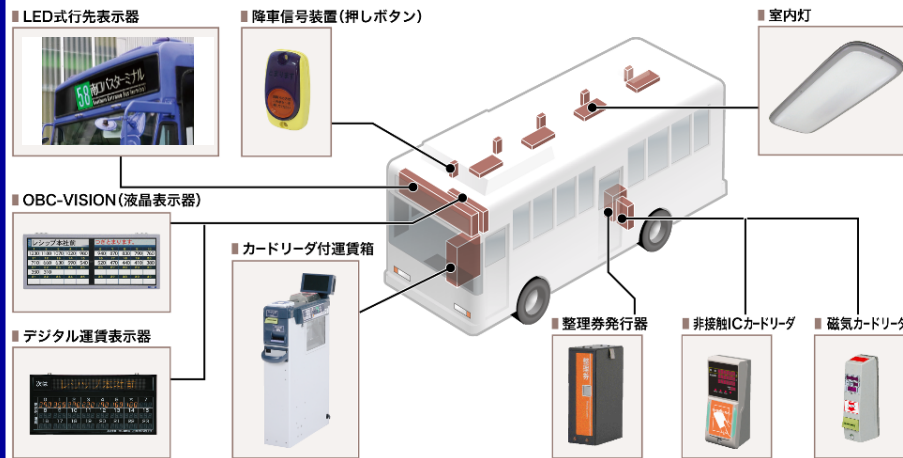


会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 12,798,200株
上場証券取引所	: 東証1部、名証1部 (証券コード: 7213)
連結子会社	: 8社 (国内4社、海外4社)
連結従業員数	: 545名 ((国内514名、海外31名)

# 会社概要 (2/6)

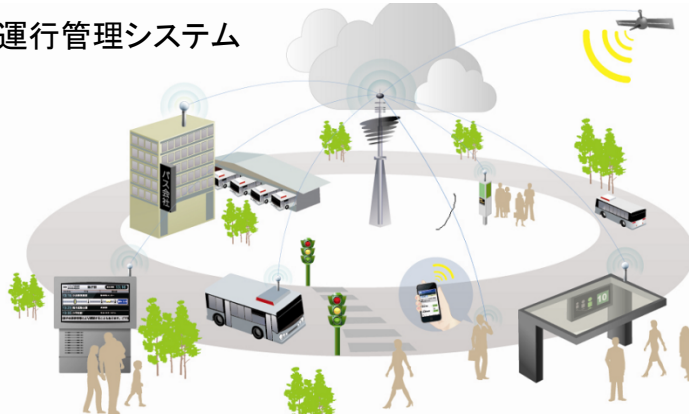
## == 輸送機器事業 ==

### バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

### TMS・運行管理システム



### 鉄道市場向け製品



ワンマン鉄道用  
運賃箱

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

### 自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

# 会社概要 (3/6)

## == 産業機器事業 ==

### 電源ソリューション



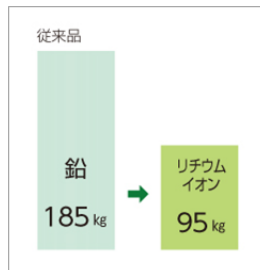
フォークリフト用充電器



基地局向け耐雷トランス



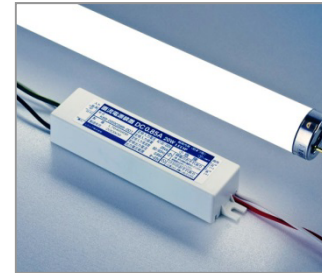
リチウムイオン搭載の無停電電源装置



可搬型無停電電源装置

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 屋外用無停電電源装置(UPS)を多用途展開

### エコ照明&高電圧



LED電源と直管型LED灯具



ネオン変圧器

### EMS



プリント基板実装ライン

レシップ電子株式会社にて、プリント基板の実装ラインを10ライン保有

## 会社概要 (4/6)

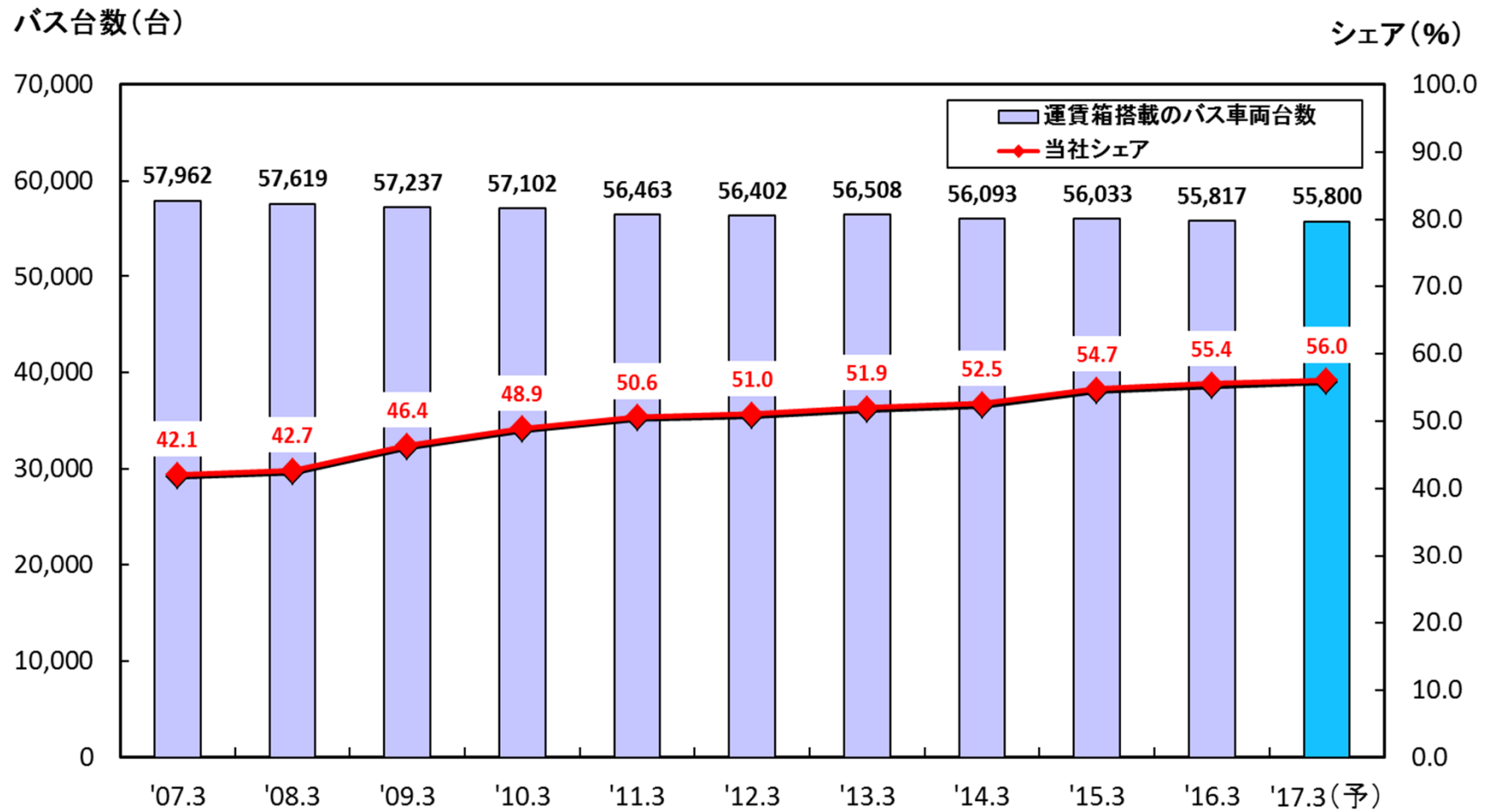
「ニッチ・トップ」の方針で、多くのトップシェア製品を保有

(単位: %)

			13年3月期 期末	14年3月期 期末	15年3月期 期末	16年3月期 期末	16年9月期 期末
輸送機器	バス	(バス用)運賃箱	51.9%	52.5%	54.7%	55.4%	55.6%
		ICカードシステム	57.4%	58.3%	60.3%	59.9%	60.0%
		液晶表示器	73.1%	69.4%	72.4%	74.4%	72.8%
		LED行先表示器(カラー・アンバー)	41.4%	40.9%	41.7%	41.8%	42.2%
	鉄道	(鉄道用)運賃箱	91.2%	91.2%	91.2%	90.4%	90.4%
		(鉄道用)車両用蛍光灯具	29.1%	19.4%	16.4%	15.3%	15.6%
	自動車	トラック用蛍光灯具	85.0%	84.8%	85.5%	85.4%	86.2%
産業機器	巻線式ネオン変圧器		90.1%	95.3%	98.2%	94.3%	96.4%
	バッテリー式フォークリフト用充電器		57.4%	56.3%	57.9%	57.6%	56.0%

\* 当社調べ

# 会社概要 (5/6)



## 会社概要 (6/6)

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 予想
売上高	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	14,157	20,215	16,203	18,000
営業利益	1,232	1,070	29	121	493	477	151	603	-571	300
営業利益率 (%)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(1.1)	(3.0)	(-3.5)	(1.7)
経常利益	1,208	1,104	64	154	514	526	164	779	-649	300
経常利益率 (%)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(1.2)	(3.9)	(-4.0)	(1.7)
当期純利益	686	521	41	46	132	292	-98	227	-1,378	50
当期純利益率 (%)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(-0.7)	(1.1)	(-8.5)	(0.3)
総資産	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	12,677	14,431	13,173	—
純資産	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	4,614	4,637	3,277	—
自己資本比率 (%)	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	36.4	32.1	24.9	—
EPS(円)※	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	-9.05	20.76	-125.25	4.53
ROE (%)	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	-2.10	4.9	-34.8	—
BPS(円)※	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	422.21	422.30	297.03	—